



クラブ紹介



田上ミニバスケットボールクラブは1年～6年、男子37名、女子26名で構成され、創部から30年以上続く伝統あるチームです。毎週水曜日の16時15分から18時までと土日の午前か午後に田上小学校体育館で練習しています。

今年度は去年に引き続きコロナウイルス感染症の影響により、練習時間を短縮し、練習内容も人と接触しないなど感染予防を考慮したメニューに限定し、苦しい思いをしてきました。中止になった公式試合もいくつもあり、なかなか結果を残す機会がない一年間だったと思います。

そんな中でも×フバーはいつも明るく楽しく遅しく練習を続け、厳しい状況の中でもお揃いでマスクを作ったり、男女で時間配分したりして、工夫しながら技術向上してきました

秋からはなんとか試合をすることができる環境となり、練習試合や公式戦にもいくつが出来ることができました。特に女子は今年度とてもよい結果を残せました。コロナに負けず練習を続けた賜物と思います。

6年生にとって最後の公式戦となつた県選抜大会も無事に開催され、男女共に出場することができました。本当に良かったと思います。そのあとすぐにまたコロナウイルスが蔓延し始め、1月現在ではまた練習をストップせざるを得ない状況にあります。体を鍛え、また練習を再開できたなら次はもっと上を目指せるチームになれるよう頑張ってほしいと思います。



11月28日(日)に『たがみふるさとロゲ2021』が開催されました。

今年度、社会体育大会を中止とした代わりの行事として、「NPO法人クラブぽっと」と連携して初めて企画されたものです。当日は地図を見ながら多数設置されたチェックポイントをできるだけ多く制限時間内に回り、得られた点数を競いました。今回、田上小・杜の里小校下内を中心に40箇所のチェックポイントが設置されました。地域のお宝等を探ることで独自に工夫して実施しました。

20チーム（67名）が参加し、田上小学校の体育館で開会式が行われました。開会式では「NPO法人クラブぽっと」のクラブマネージャー・森亮太さんからルール説明や注意点についてご案内いただきました。「ポイント一覧の写真と可能な限り同じ構図で写真を撮る」「撮影者を除くすべてのチームメンバーが写真に入る」「写真を撮る際はチーム番号が書かれたゼッケンを1名が持つてチーム番号が写真に写るようにする」「9時15分スタート～11時45分ゴールの2時間30分」「1分遅刻すると50点減点、20分以上の遅刻は失格」「ナビアプリ等の使用、自転車、タクシー、バスなどの使用禁止」というルールです。関戸館長からは、「地域の文化的な遺産を見ていただき、ポイントを達成しながら、理解を深めていただけると嬉しい。いくつかのチェックポイントにはQRコードが設置してあります。」とのご挨拶をいただきました。QRコードの設置は金沢美術工芸大学の教員の方々の協力も得て、設置されたそうです。サプリズで田上小学校の押野校長先生が応援にかけつけてください、参 加していた小学生は嬉しそうでした。

受付時に配布された大きな封筒には、ゼッケン番号、記入用紙、地図が入っており、合図のあとで一斉に取り出し、どこから回るかを各チームで作戦タイムです。





公民館フェア おめでとうございます。

金沢市優良役職員表彰

水井 敏夫さん

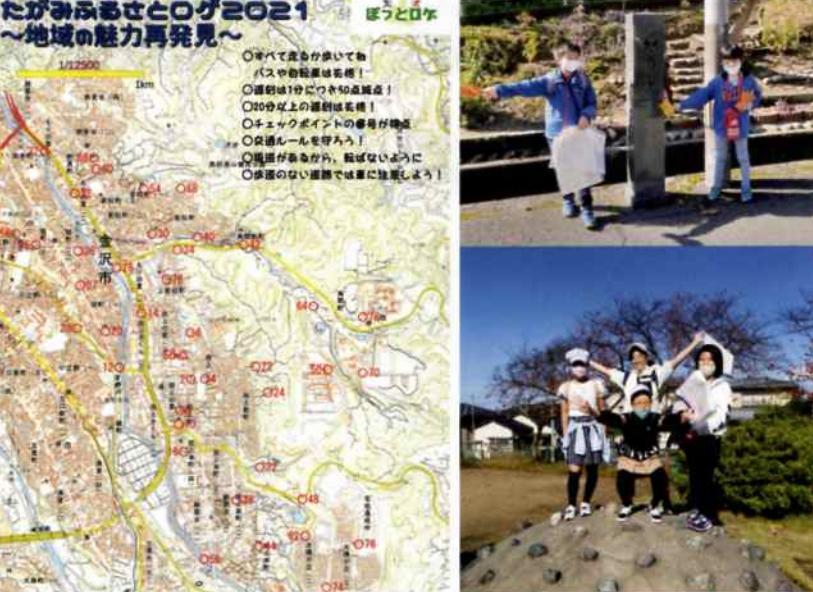
公民館永年勤続表彰

- | | |
|-----------|---------|
| 永年勤続 30 年 | 関戸 正彦さん |
| 永年勤続 25 年 | 谷内 由美さん |
| 永年勤続 20 年 | 大久保 強さん |
| | 田村 功さん |
| 永年勤続 10 年 | 上田 俊明さん |



合計 1587 点

電話番号: 0761-8761-1430 電話番号: 0761-8761-1430



私は夫、娘（小3）、息子（年長）と4人で参加しており、良い機会なので行つたことのないところを歩いてみました。作戦タイムが終わり9時15分にスタートすると、それぞれのチムが目的地に向かっていきました。晩秋の青空の下、ロゲ日和です。私たち家族は、お散歩気分で楽しむつもりでいましたが、目標した目的地が思ったより遠く、上り坂、下り坂を歩いているうちに、娘と息子は、「だんだんしょんぼりモードに・・・」。息子は「こんなにこんなに遠くまで来ちゃって、戻れるの？」と不安そうに言いました。行つたことのない方面を歩いていると不安になつたようなので、知つてゐるエリアに戻り、飲み物を飲んで休憩しました。いつもの見慣れた景色に着くと安心したようで、がんばつて歩き出し、時間内に無事に田上小学校へたどり着きました。閉会式では結果発表があり、優勝は若松東町会のみなさんでした。おめでとうございます。企画、ご協力いただきましたみなさま、そしてご参加いただきましたみなさま、ありがとうございました。

△県自然史資料館 バックヤードツアーノ

青少年部 広村 純治



2021年12月11日(土)に、「県自然史資料館 バックヤードツアーノ」が開催されました。長引くコロナ禍の影響により延期された上での開催でした。子どもたちを含む参加者25名は3班に分かれた後、学芸員さんの説明に耳を傾けながら、順番に回っていきます。バックヤードには「植物」「生物(はく製、骨格標本、毛皮等)」「県内で出土された化石、岩石」の収蔵庫(展示前のもの)を保管しておくところ)があります。植物の収蔵庫にある標本は、重ならないように新聞紙などに挟み、種類別、採取場所別に保管されていました。

生物の収蔵庫には、たくさんのはく製が保管されていました。かつて卯辰山にあつた動物園(1993年閉園、いしかわ動物園の前身)で暮らしていた鳥た動物たちはく製や、県立美術館に隣接していた野鳥園で暮らしていた鳥たちのはく製の他、県内の施設や個人の方から寄贈されたはく製や毛皮製品などもあります。驚いたのはナガスクジラの骨の標本の大きさです。この標本になつたナガスクジラは、能登の海岸に流れ着き、骨の標本を作るため、一旦砂浜に埋められたそうです。

進んでいくと化石の収蔵庫がありました。化石は、犀川にある大桑橋の上流や白山市など、県内のさまざまな場所から発掘されているそうです。発掘された化石は、5年から10年の年月をかけて泥などの汚れをきれいに取り除いたあとに展示されます。



編集後記

新型コロナウイルス感染症の流行の長期化で、自粛生活も長く続いている。思うように外出ができないことや、さまざまなイベントも自粛され、在宅勤務などによる生活の大きな変化によって、ストレスも大きくなっています。そんな中、委員の皆様の協力により館報第112号を発刊することが出来ました。

館報に対するご意見・ご要望等ございましたら、広報視聴覚部までお寄せいただければ、幸いです。

Vol.112

発行日/令和4年3月31日
発行人/広報視聴覚部

| | |
|-----|--------|
| 部長 | 三浦 清宏 |
| 副部長 | 松原 正恵 |
| | 二ツ寺 琴栄 |
| 委員 | 渡辺 真佑 |
| | 河嶋 真由美 |
| | 小泉 淳一 |
| | 越野 明 |
| | 吉田 美雪 |
| | 長門 清志 |

特別編集員 彦坂 哲郎

ご意見・ご感想・ご希望をお聞かせください。

下記FAXまでお寄せください。
Kanazawa Tagami Community Center
〒920-1156 金沢市田上の里2丁目3番地



TEL

076-261-1331

FAX

076-261-1516

<https://tagamicc.jp/>